

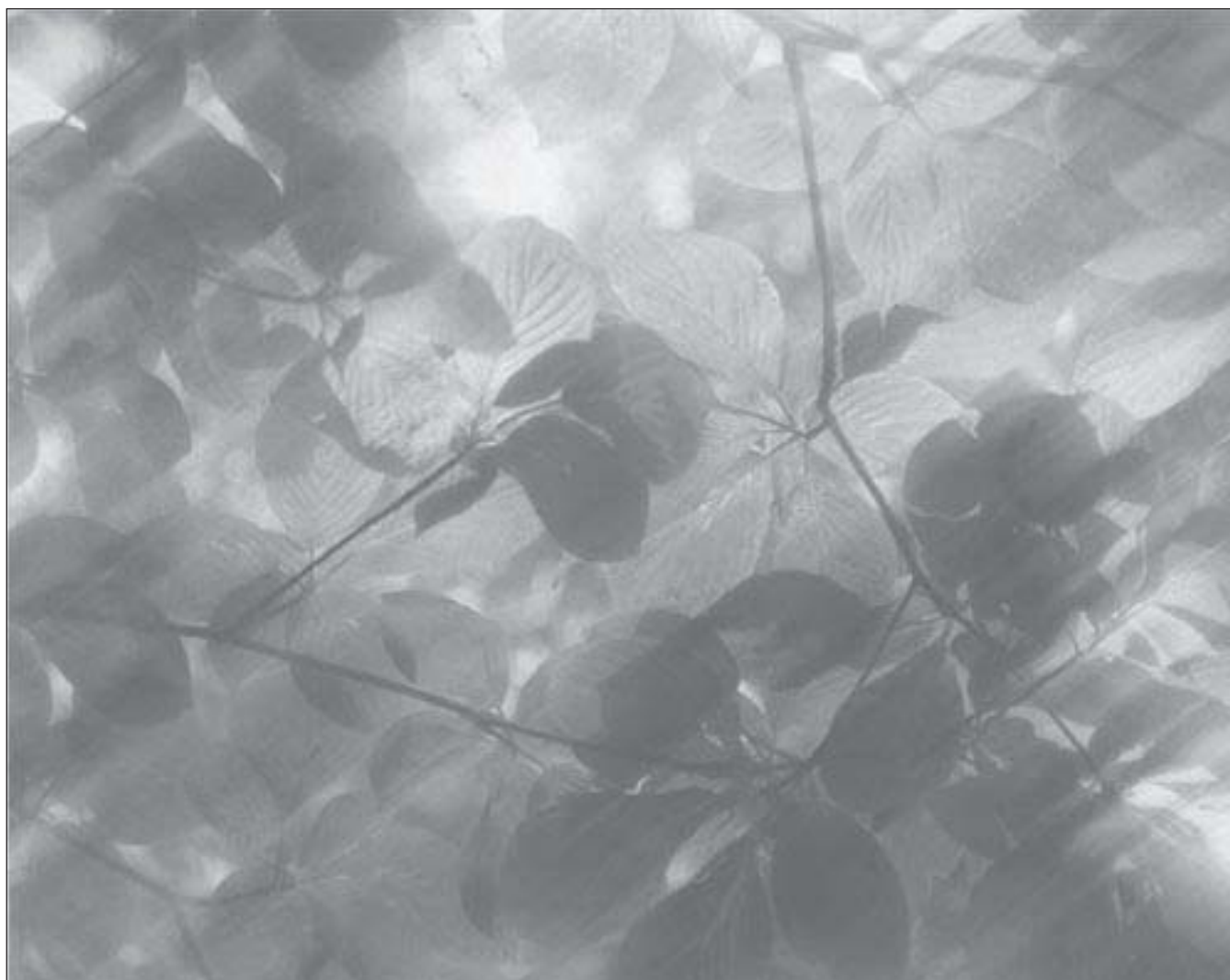
KOIZUMI

リモコンインテリアファン 取扱説明書

110 センチインテリアファン

90 センチインテリアファン

型番 **AEE695092** 型番 **AEE695093**



工事説明書別添付 保証書付 : 裏表紙にあります

このたびは、インテリアファンをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」(2、3 ページ) を必ずお読みください。
- ・お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- ・保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
お使いになるまえに	5
運転のしかた	6
お手入れのしかた	8
乾電池の交換	8
故障かな!?	9
製品についてのご相談・お問合せ	10
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	11
仕様	裏表紙
保証書	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■絶対に分解したり修理・改造しない



分解禁止

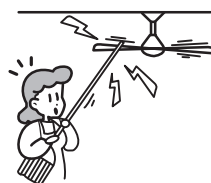
火災・感電・けがの原因になります。

・修理はお買い上げの販売店・電気工事店または、この説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。

■運転中は羽根に触れない



禁止



落下や破損してけがなどの原因になります。

■水をかけたり、ぬらさない



水ぬれ禁止



ショートして火災・感電の原因になります。

■異常な振動が発生した場合は、使うのをやめる



取り付けがゆるみ、落下して、けがの原因になります。

・修理はお買い上げの販売店・電気工事店または、この説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。

■本体にぶらさがらない



禁止



落下してけがの原因になります。

■お手入れの際は、必ずブレーカーを切る



不意に作動してけがをしたり、感電の原因になります。

■リモコンの乾電池を破損するようなことはしない



禁止

⊕ ⊖ は正しく入れる、新旧、異種の電池は混用しない、充電しない、ショートさせない、分解・加熱・火への投入はしない、充電式電池は使わない、寿命が切れた乾電池を入れたままにしない、乾電池を長期間入れたままにしない、乾電池以外の異物（クリップなど）を入れない

液もれ・破損やショートしてやけど・感電の原因になります。

⚠ 注意

■浴室など、湿気の多い
ところに取り付けない



水場使用
禁止

感電や故障の原因になります。

■殺虫剤をかけたり、
周囲に薬品などを
置かない



引火して、
火災の原因になり
ます。

禁止

■油、ホコリの多いとこ
ろでは使わない



禁止

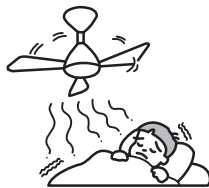


引火やショートして、火災・
感電の原因になります。

■風を長時間、
体にあてない



禁止



健康を害することが
あります。

■万一、羽根が壊れたと
きは、全部取り替える



振動して落下し、けがの原
因になります。

・修理はお買い上げの販売店・
電気工事店または、この説
明書に記載の「修理ご相談
窓口」へご相談ください。

■お手入れのときは、
安定した台などを用意
して行う

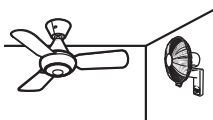


転倒して、けがの原因にな
ります。

■直接、風をあてない



禁止



落下による、けがの原因に
なります。

■電気工事は必ず電気
工事店に依頼して
ください



誤った配線工事は、漏電、
感電や火災の原因になりま
す。

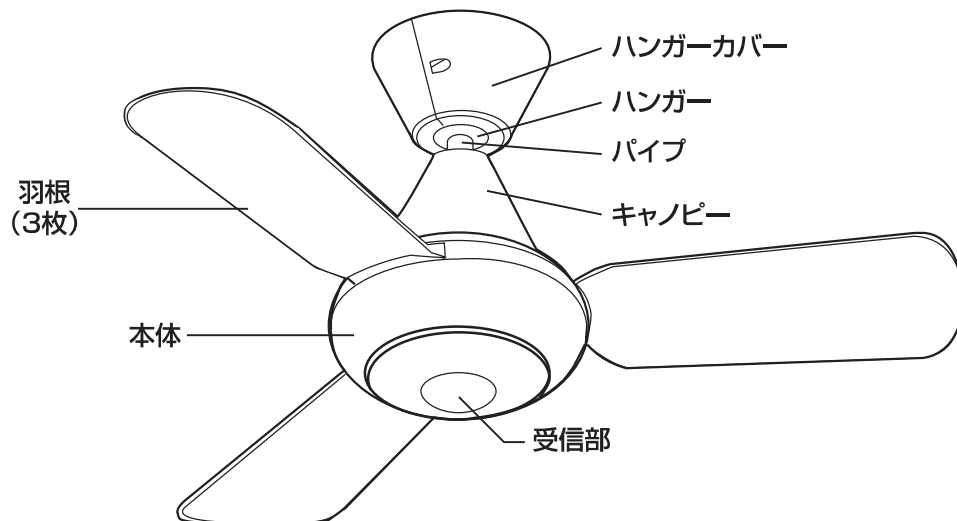
■ご使用を終了した製品
は、放置せずに撤去する



万一の場合、落下による、
けがの原因になります。

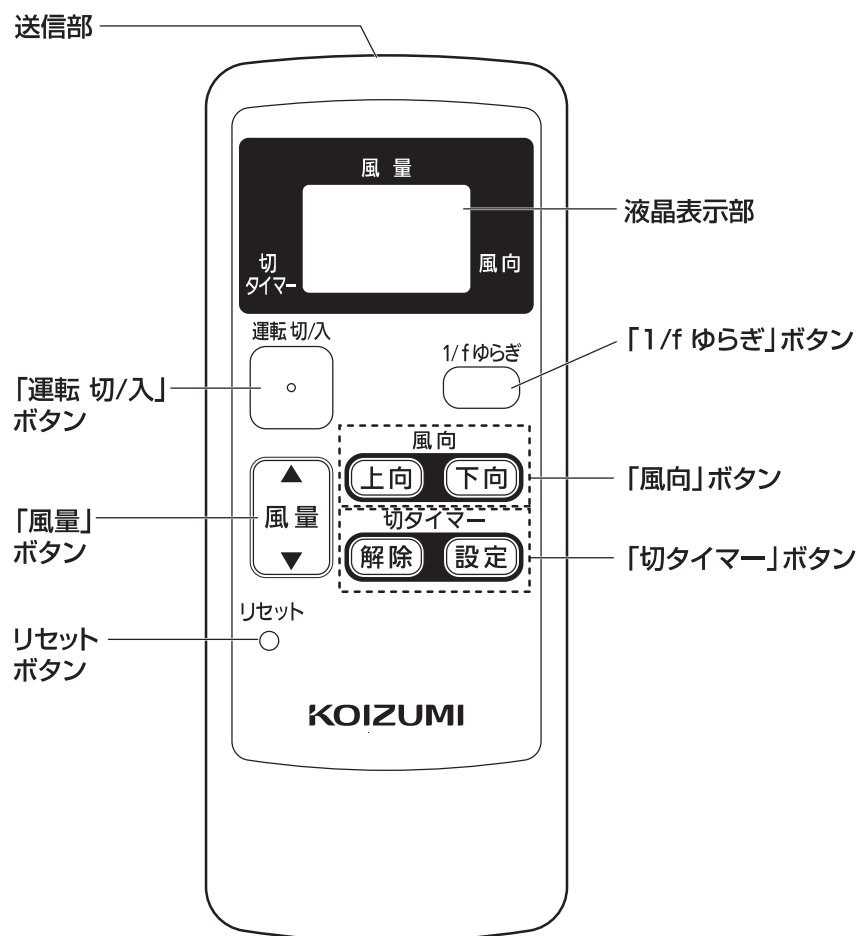
各部のなまえ

本体



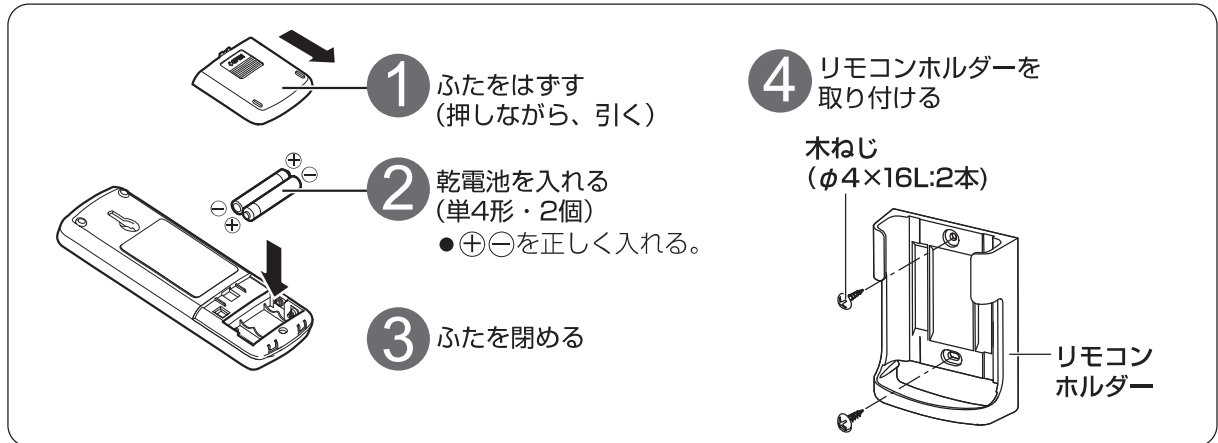
リモコン

●運転のしかたは6ページです。



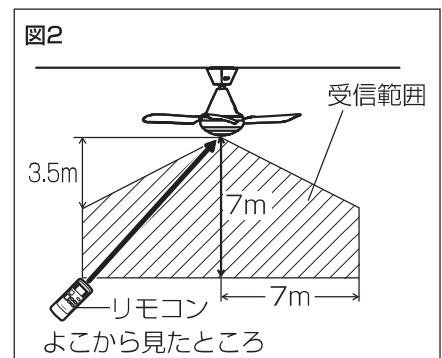
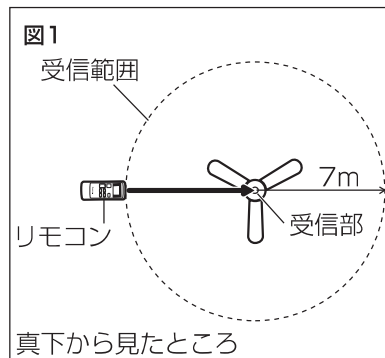
お使いになるまえに

1 リモコンの準備をする



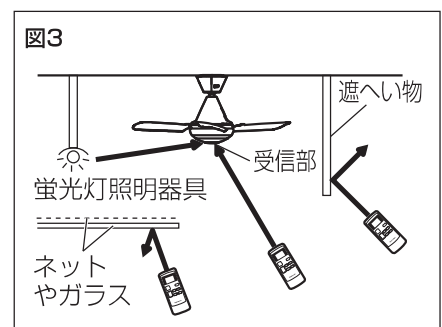
2 リモコンの受信範囲

- リモコンは受信部に向けて操作します。
- 本体下端の受信部は、図1、2のような範囲で受信します。



- 受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信しますので、図3のように、信号が遮断されたり、または蛍光灯照明器具などによって、本体が受信できない場合があります。

- 受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の障害になるところ
- ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ
- 受信部に蛍光灯照明器具の光が直接当たっているところ



お願い

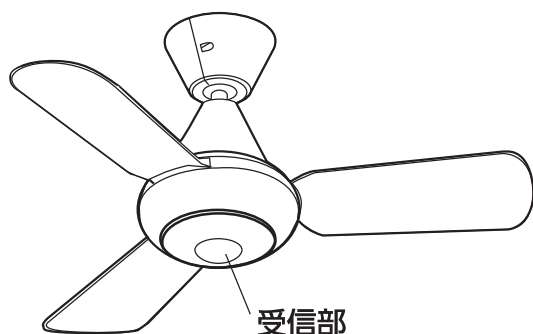
- リモコンを落としたり、踏んだり、液状のもの(水など)をかけたりしないでください。(故障の原因になります)
- 調光器を使用しないでください。(故障や異常音の原因になります)

お知らせ

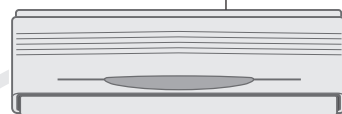
- このリモコンは、市販の学習リモコン(ラーニングリモコン)に記憶させてお使いになると、受信範囲が著しくせまくなることがあります。
- インテリアファンは、羽根が回転することにより、横揺れ(2~3mm)が起きる場合がありますが、故障ではありません。

運転のしかた

本体



エアコン



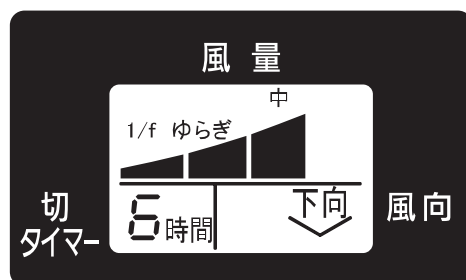
- 冷房や暖房の効果を高めるため、エアコンなどとの併用をおすすめします。

リモコン

送信部



- 下図は風量が「中」、1/f ゆらぎが「入」、風向きが「下向」、切タイマーが「6時間」のとき



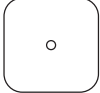
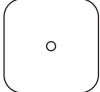
お願い

●リモコン操作について

- ・お使いになるときは、リモコンを必ずリモコンホルダーからはずし、本体の受信部に向けて操作してください。(リモコンホルダーは保管用ですので、リモコンを差し込んだ状態でボタンを押しても、本体が動作しないことがあります)
- ・本体が受信しない状態でリモコン操作をすると、リモコンの表示は本体の運転状態と違う表示になります。リモコン操作は、必ず本体に向けて受信音(ピッなど)を確認してください。
- 本体が正常に動作しない場合は、「故障かな!？」(9ページ)の点検をおこなってください。

お知らせ

- ボタンを押すたびに本体から「ピッ」音が鳴ります。
- ・運転が「切」のときは長音「ピーッ」です。
- ・1/f ゆらぎを「取消」および、切タイマーを「解除」のときは半長音「ピーッ」です。
- ・切タイマー「1時間」を設定したときは「ピッピッ」です。
- 「風向」ボタンを押したとき、切替音(カチッ)と、若干のうなり音がしますが異常ではありません。
- 回転開始時、反動で本体が少し動いたり、音がしたりすることがありますが異常ではありません。
- 冬期など使用環境温度が低い場合は始動時の羽根の回転が遅くなります。正規の回転数に安定するまでに、数分かかることがあります。
- リモコンで運転「切」のときの消費電力は約0.3Wです。

運 転 したいとき	運転 切/入 	「運転 切/入」 ボタンを押す ●液晶表示部に前回の運転状態が表示されます。 (切タイマーの設定は解除されます)
風 量 を変えたいとき		「風量」ボタンの 「▲」「▼」 を押す ●「▲」または「▼」を押すと風量が切り換わります。 (ソフト↔弱↔中↔強)
1/fゆらぎ にしたいとき	1/fゆらぎ 	「1/f ゆらぎ」ボタン を押す ●1/fゆらぎは風量にきめ細かな強弱の変化をつけ、より自然に近い、こころよい風を送ります。 ●ふたたび押すと「1/fゆらぎ」が解除されます。
風 向 を変えたいとき	風 向 	「下向」または「上向」 を押す ●羽根の回転方向を切り換えます。 ●下向…正回転(風を下向きに送ります) ⇒夏場など、直接風を当て、涼風感を与えます。 ●上向…逆回転(風を上向きに送ります) ⇒冬場など、部屋全体にゆっくりとした風を送り、部屋の空気をかくはんします。
切タイマー を使いたいとき	切タイマー 	「設定」を押す ●「設定」を押すたびに切タイマー時間が切り換わります。 (1→2→3→4→5→6時間) ●時間の経過とともに、切タイマーの数字が切り換わり、残り時間の目安を表示します。 ●設定した時間がたつと、運転が停止します。 ●「解除」で設定タイマーが解除されます。
運転を 切 にしたいとき	運転 切/入 	「運転 切/入」 ボタンを押す

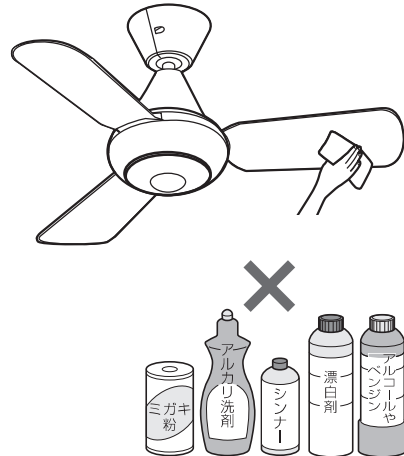
お手入れのしかた

- ① 運転を「切」にする
- ② ブレーカーを「切」にする
- ③ 安定した台などを用意する

本体、リモコン (1 ヶ月に 1 回程度)

ぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を浸した
柔らかい布を、かたくしぼって汚れをふき取り、
からぶきをする

- 羽根に強い力を加えたりして、羽根を変形させない
てください。
(本体の横揺れ、振動の原因になります)
- 右図のようなものなどは使わないください。
(変形、変色の原因になります)
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに
従ってください。



乾電池の交換 (乾電池の寿命は約 1 年です / 使用状況によって変わります)

■交換時期のめやす

- リモコンの「運転 切 / 入」を押しても液晶表示部が表示しなくなったときなど。



警告

リモコンの乾電池を破損するようなことはしない

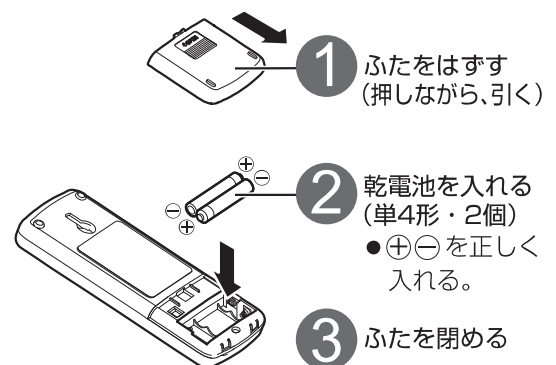
(⊕ ⊖ は正しく入れる、新旧、異種の電池は混用しない、
充電しない、ショートさせない、分解・加熱・火への投入
はしない、充電式電池は使わない、寿命が切れた乾電池を
入れたままにしない、乾電池を長期間入れたままにしない、
乾電池以外の異物 (クリップなど) を入れない)



禁止

液もれ・破損やショートしてやけど・
感電の原因になります。

■交換のしかた



- 電池交換後、操作安定のため、リセット
ボタンを押してください。(6 ページ)

故障かな !?

ちょっとお調べください。

修理を依頼するまえに、一度確かめてみてください。

こんなとき	ちょっとお調べください／処置	参考 ページ
運転しない リモコンで作動しない 受信しない	●リモコンの電池切れではありませんか。 →リモコンの「運転 切 / 入」を押して、液晶表示部が表示しないときは新しい乾電池と交換する。 ●リモコン乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。 →乾電池の向きを正しくする。	8
	●受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の障害になっていませんか。 ●ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがありますか。 ●受信部に直射日光や他の照明器具の強い光が当たっていませんか。 →リモコンの受信のさまたげになるものを取り除くか、リモコンをできるだけ受信部に近づけて操作してください。	5
	●羽根の回転を妨げるものはありますか。 →ブレーカーを「切」にし、羽根の回転を妨げるものがないか確認する。再度、ブレーカーを「入」にして、リモコン操作をおこなう。 それでも直らないときは、 すぐにブレーカーを「切」にして、お買い上げの販売店またはこの説明書に記載のご相談窓口にご相談ください。天井取付部や本体内部に異常がある場合があります。	—
本体の揺れが大きい 振動している	●羽根が破損や変形していませんか。 ①ブレーカーを「切」にする ②羽根が破損や変形していないか確認し、破損や変形している場合は、お買い上げの販売店に依頼し羽根を全部取り替えてください。 それでも直らないときは、 お買い上げの販売店または電気工事店に、工事説明書の〈取付後の点検〉を依頼してください。天井取付部や本体内部に異常がある場合があります。	—

製品についてのご相談・お問合せ

■保証書付（裏表紙にあります）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

■補修用性能部品の保有期間

弊社は、補修性能部品の製造打ち切り後最低 6 年保有しています。

性能部品とは、その性能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、乾電池は消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・取り扱い・工事などのご相談は、
まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。

（ご贈答やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へのご依頼にできない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。）

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話  0570-055123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話  0570-015123

FAX  0570-025123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

コイズミ照明株式会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

天井扇

- 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件 日本産業規格JIS C9921-1及び(社)日本電機工業会自主基準HD-1116-3による

大項目	中項目		小項目	備考
環境条件	電圧		単相100V又は単相200V	機器の定格電圧による
	周波数		50Hz/60Hz	
	温度		30℃	
	湿度		65%	
	設置条件		標準設置	
負荷条件			定格負荷(風速)	工事説明書・取扱説明書による
想定時間等	扇風機 (含む壁掛け扇、天井旋回扇)	1日あたりの使用時間	8(h/日)	
		1日使用回数	5(回/日)	
		1年間の使用日数	110(日/年)	
		スイッチ操作回数	550(回/年)	
		首振運転の割合	100(%)	
	天井扇	1日あたりの使用時間	10(h/日)	
		1日使用回数	5(回/日)	
		1年間の使用日数	180(日/年)	
		スイッチ操作回数	900(回/年)	
		首振運転の割合	対象外	

※環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

- 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

※上記の「長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示」は、電気用品安全法の改正に基づき、2009年4月以降生産の製品に記載しています。

愛情点検

長年ご使用のインテリアファンの点検を！



こんな
症状は
ありま
せんか

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 回転が遅い、または回転が不規則。
- こげくさい臭いがする。
- モーター部が異常に熱い。

ご使用
中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、運転を中止し、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

仕様

●消費電力、回転数、風速、風量は「正回転」「1/fゆらぎ：切」「風量：強」のときの値です。

品 番	電 圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	回転数 (r/min)	風 速 (m/min)	風量 (m ³ /min)	本体質量 (kg)
AEE695092	100	50	44	206	162	160	4.6 (※1)
		60	60	226	180	177	5.1 (※2)
AEE695093	100	50	20	200	132	99	4.4 (※1)
		60	28	216	144	109	4.9 (※2)

●リモコンで運転「切」のときの消費電力は約0.3Wです。

(※1) 本体のみの質量です。(取付金具とリモコンを除く)

(※2) 本体と取付金具の質量です。(リモコンを除く)

●使用環境温度は、5～40℃です。

●この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。
また、アフターサービスもできません。

コイズミ インテリアファン保証書

＜ 保 証 に つ い て ＞

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。
- 電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様へ

保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

＜アフターサービスについて＞

- 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 弊社は補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

※ 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または、コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問い合わせください。

※ This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)

1年間

お買上年月日

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お
客
様

お名前

ご住所

電話 ()



MK23W8801GM

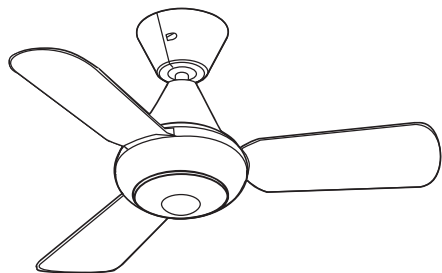
コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

MK23W8801GM

KOIZUMI

リモコンインテリアファン 工事説明書



110 センチインテリアファン

型
番

AEE695092

90 センチインテリアファン

型
番

AEE695093

製品を安全に設置し

お使いいただくために、

この工事説明書をよく

お読みのうえ、工事手順

に従って工事を進めて

ください。

※正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お客様への取り扱い説明

取扱説明書に基づいて製品の取り扱いを説明してください。

保証書は必要事項を記入のうえ、工事説明書および取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。

もくじ

ページ

別売品のパイプをお使いになる場合は、取り付けかた(19 ページ)を参照してください。

●安全上のご注意.....	2
●各部のなまえと付属品	4
●取り付けるまえに.....	6
1. 本体の取り付け場所を決める	6
2. 取付面の強度を確認し、 弱い場所は補強する	8
●本体を取り付ける.....	9
1. 天井に取付金具を取り付ける	9
2. 本体の下(受信部)に緩衝材を敷く	16
3. 本体にパイプセットを取り付ける	16
4. 本体に羽根を取り付ける	17
5. キャノピーを取り付ける	18
6. 本体をつるす	20
7. ハンガーカバーを取り付ける	21
●リモコンの準備をする	22
●結線図	22
●取り付け後の点検.....	23
●仕様.....	裏表紙
●外形寸法	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■仕様変更・改造は絶対にしない



分解禁止

火災・感電、けがの原因になります。

■交流 100V 以外で 使用しない



禁止

火災・感電の原因になります。

■施工は必ずブレーカーを切っておこなう



不意に作動してけがをしたり、感電の原因になります。

■十分強度のあるところに確実に取り付ける



取り付けに不備があると、落下によるけがの原因になります。

・天井の補強確認は工務店にご相談ください。

■樹脂製アウトレットボックスには取り付けない



禁止

樹脂製アウトレットボックス



落下の原因になります。

■施工は説明書に従い、確実にこなう



不備な施工は、火災・感電・落下によるけがの原因になります。

・施工は電気工事士の資格者がおこなってください。

■配線ケーブルを破損するようなことはしない



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)

■羽根取付ねじは、電動工具で締めつけない



禁止

本体ねじ穴のねじ山がつぶれて羽根が落下し、けがの原因になります。

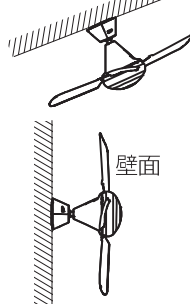
■こんな場所には 取り付けない



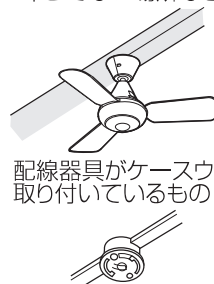
禁止

この器具は天井面取付専用です。指定場所以外に取り付けると火災・感電・落下によるけがの原因になります。

指定角度を超える傾斜した天井



不安定な場所
(幅のせまい板や平らでない場所など)



補強のない薄い場所
(ベニヤ板や石膏ボードなど)



配線器具がケースウェイに取り付いているもの

注意

■ ガスレンジなど炎の近く、引火性のガスのある場所に取り付けない



禁止

炎の立ち消え、引火、爆発やショートして、火災・感電の原因になります。

■ 配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなう

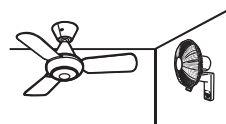


誤った配線工事は、漏電、感電や火災の原因になります。

■ 直接、風のあたる場所に取り付けない



禁止



落下による、けがの原因になります。

■ 油、ホコリの多い場所には取り付けない



禁止

引火やショートして、火災・感電の原因になります。

■ 振動や衝撃の大きい場所に取り付けない



禁止

落下による、けがの原因になります。

■ 浴室など、湿気が多いところに取り付けない



水場使用
禁止

感電や故障の原因になります。

■ ワイヤーは必ず取り付ける



落下による、けがの原因になります。

■ 万一、羽根が壊れたときは、全部取り替える



異常振動により、落下して、けがの原因になります。

- ・羽根の交換は3枚セットでおこないます。
- ・羽根の交換は必ず本体を降ろしてからおこなってください。

■ 薬品のある場所、酸、アルカリを使う場所には取り付けない



禁止

変形・変質により落下して、けがの原因になります。

■ 調光器と組み合わせて使用しない

調光機能付壁スイッチなどの調光器と組み合わせて使用しないでください。



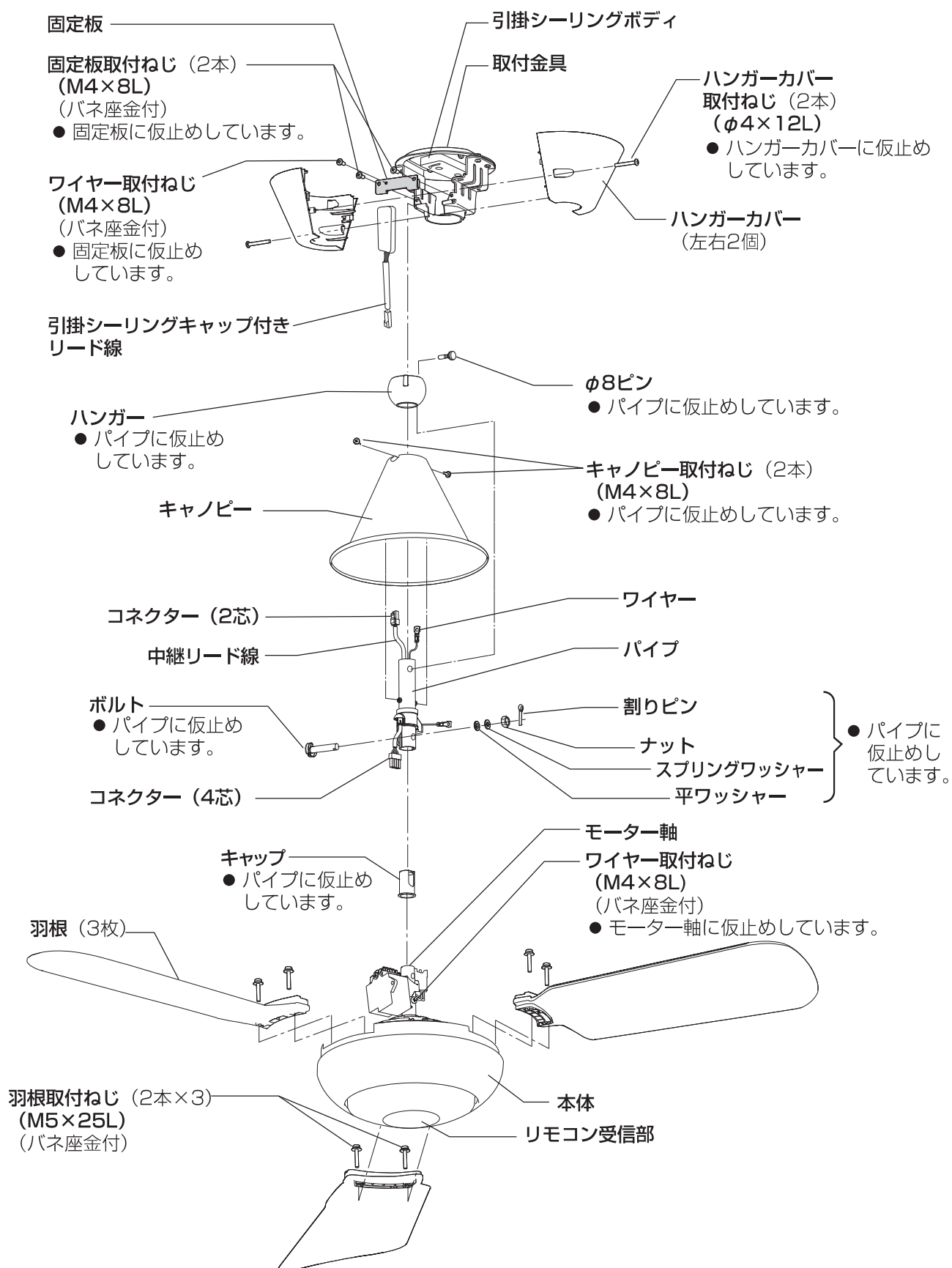
禁止

火災の原因になります。

調光器の取りはずしが必要です。調光器の取りはずしには資格が必要です。工事店・電気店に依頼してください。

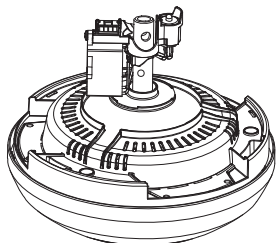
各部のなまえと付属品

展開図

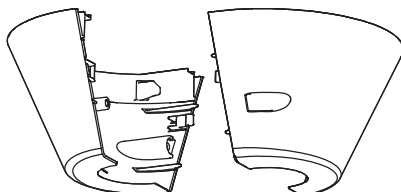


同梱部品

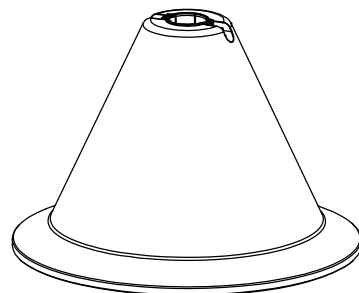
■本体



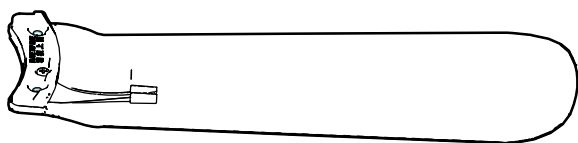
■ハンガーカバー（左右 2 個）



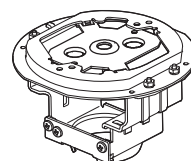
■キャノピー（1 個）



■羽根（3 枚）

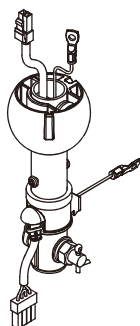


■取付金具（1 個）



付属品

■パイプセット（1 本）



■羽根取付ねじ（M5 × 25L）（6 本） （バネ座金付）



■木ねじ（φ4 × 16L）（2 本）



● リモコンホルダー取付用

■木ねじ（φ4 × 30L）（4 本）



● 取付金具取付用

■小ねじ（M4 × 20L）（2 本） （バネ座金付）

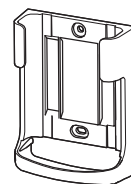


● アウトレットボックス用
またはスイッチボックス用

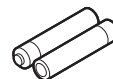
■リモコン（1 個）



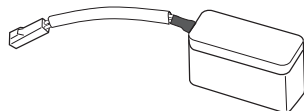
■リモコンホルダー（1 個）



■乾電池（単 4 形）（2 個）



■引掛シーリングキャップ付き リード線 （引掛シーリングボディ付き）（1 本）



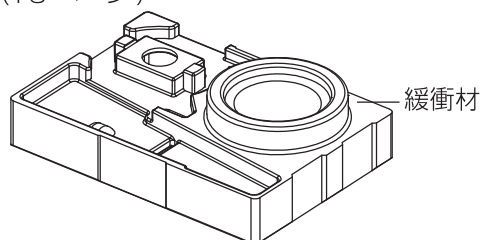
■取付ボルトセット（M8）



回転金具 1
平ワッシャー 1
ボルト 1
ナット 2
スプリングワッシャー 1

■緩衝材（本体保護用）

本体を組み立てるときに使います。
（16 ページ）



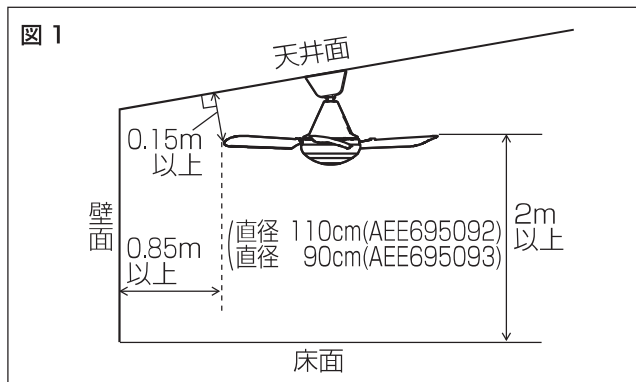
取り付けるまえに

1 本体の取り付け場所を決める

■安全上のご注意（2～3ページ）と下記のA～Cを考慮して、本体の取り付け場所を決めます。

A. 本体の取り付けは、必ず、 図1の寸法が確保できる ところに付ける

本体とまわりの壁面との間がせまい場合
や天井が平らでない場所（掘り天井など）に
取り付けした場合、空気の流れが乱れて、
性能が低下したり、本体がゆれたりします。



■別売品のパイプをお使い頂くと、
天井の傾斜角度が最大 32 度のところ
まで取り付け可能です。（図2 参照）

●表1の度数対比表をご参照ください。

警告

禁止

**指定の角度を超える
傾斜面に取り付けない**

落下による、けがの原因に
なります。

図2

本体品番		本体に付属のパイプ (133mm)	別売品		
			AEE690173 (360mm)	AEE690172 (600mm)	AEE690171 (900mm)
AEE695092	9度以内		29度以内	32度以内	32度以内
	11度以内		32度以内	32度以内	32度以内

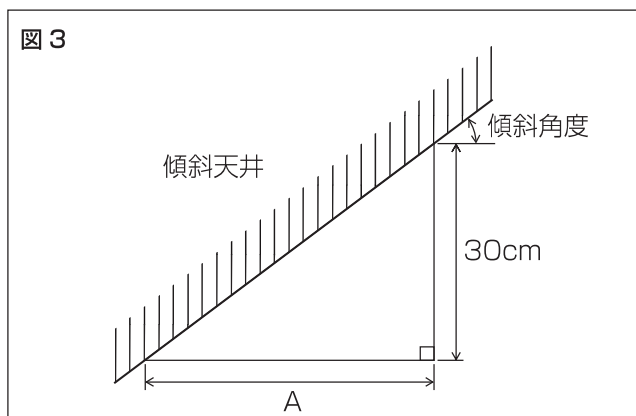
傾斜角度の割り出しかた

1. 天井扇を取り付ける位置から、おも
りをつけた 30cm の紐をぶら下げる
2. 図3のAの距離を測定し、表1の度数
対比表より傾斜角度を割り出す

表1：度数対比表

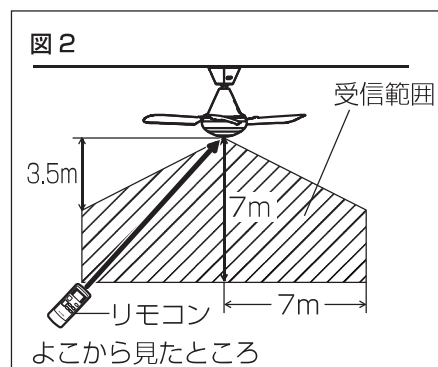
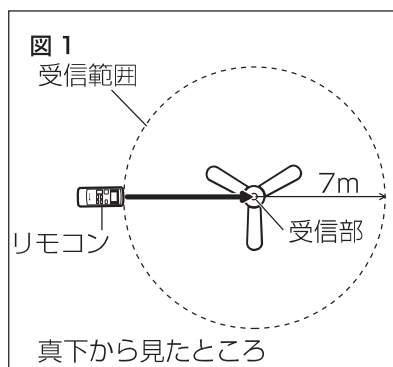
A	傾斜角度	参考（寸勾配）
285cm	6°	(1.05)
189cm	9°	(1.58)
154cm	11°	(1.94)
54cm	29°	(5.54)
48cm	32°	(6.25)

図3



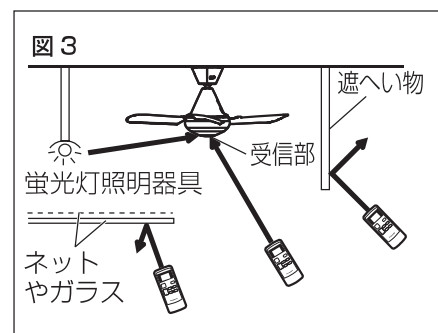
B. リモコンを受信できる場所に取り付ける

- リモコンは受信部に向けて操作します。
- 本体下端の受信部は、図1、2のような範囲で受信します。

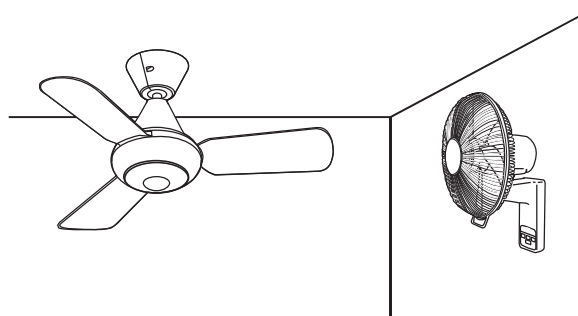
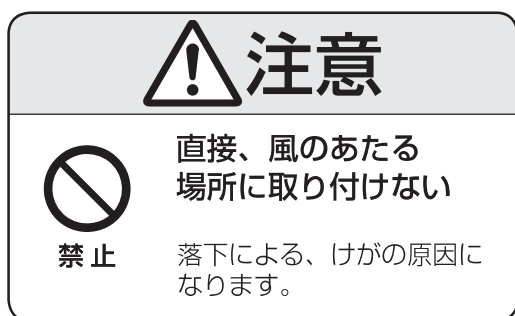


- 受信部はリモコン信号（赤外線）を直接受信しますので、図3のように、信号が遮断されたり、または蛍光灯照明器具などによって、本体が受信できない場合があります。

- 受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の障害になるところ
- ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ
- 受信部に蛍光灯照明器具の光が直接当たっているところ

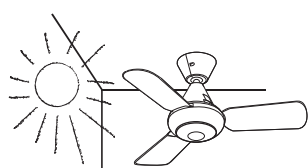


C. 次の場所には取り付けない



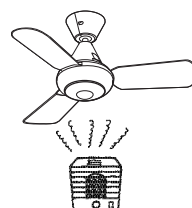
お願い

- ・ 直射日光の当たる場所に取り付けけないでください。



樹脂部分の変色や変質の原因になります。

- ・ 熱気や温風のあたる場所に取り付けけないでください。



変色や故障の原因になります。

取り付けるまえに

2 取付面の強度を確認し、弱い場所は補強する

- 取付面の強度を十分に確認し、あらかじめ補強するか、補強材の入っているところに取り付けます。
- 天井取付場所は、本体と取付金具の質量の約10倍の荷重に耐えられる強度を確保してください。
 - ※ 羽根の回転にともない、強い回転力が加わります。
 - ※ 地震で揺れたときなど、強い力が加わります。
- 天井の補強確認は工務店にご相談ください。

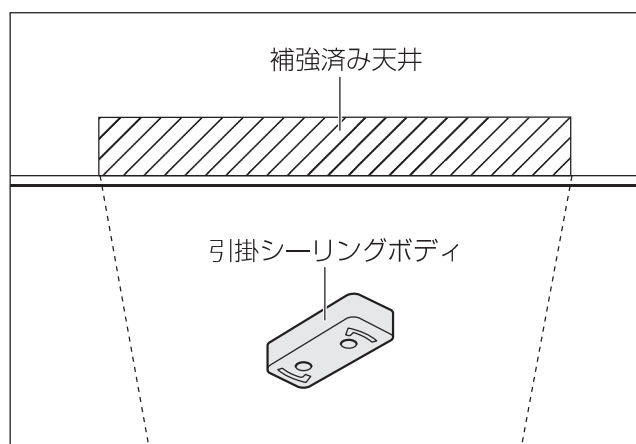


警告



**十分強度のあるところに
確実に取り付ける**

落下による、けがの原因になります。



本体を取り付ける



警告



施工は必ずブレーカーを
切ってからおこなう

不意に作動してけがをしたり、
感電の原因になります。

1 天井に取付金具を取り付ける

【取付金具の取り付け方法は、天井や天井に取り付けている引掛けシーリングの種類によって異なります。
下記の内容に従って取り付けてください】

.....

A：引掛けシーリングが取り付けしていない場合

⇒ 10 ページ

B：引掛けシーリングが取り付けしている場合〈角型、丸型引掛けシーリング〉

⇒ 11 ページ

C：埋込形引掛けシーリングが取り付けしている場合

⇒ 12 ページ

D：ボルト取り付けの場合

⇒ 13 ページ

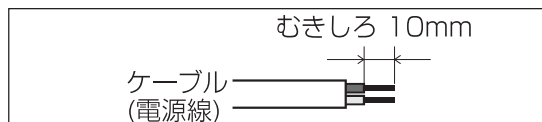
本体を取り付ける

A：引掛シーリングが取り付けしていない場合

① 天井（取付面）の強度を確認する（8 ページ）

② ケーブル（電源線）を天井から引き出し、付属の引掛シーリングボディに接続する

- ケーブル（電源線）の適合電線は VVF ケーブル（単線：2 芯） ϕ 1.6 または ϕ 2.0 です。



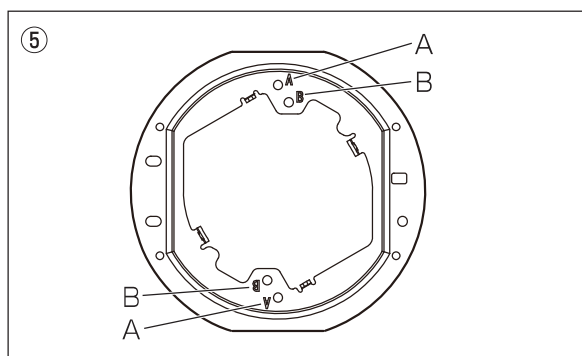
- ケーブル（電源線）は引掛シーリングボディに確実に差し込んでください。

③ 引掛シーリングボディを木ねじ 2 本で、天井内の補強材のある位置に取り付ける（この木ねじは付属品ではありません）（推奨木ねじ： ϕ 3.8 × 38L）

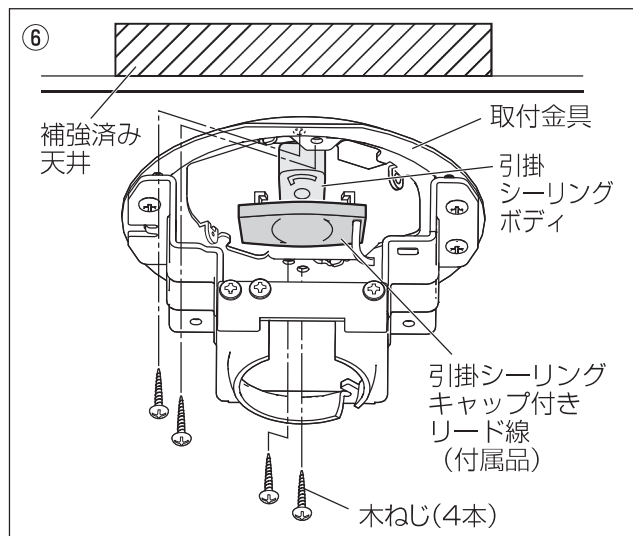
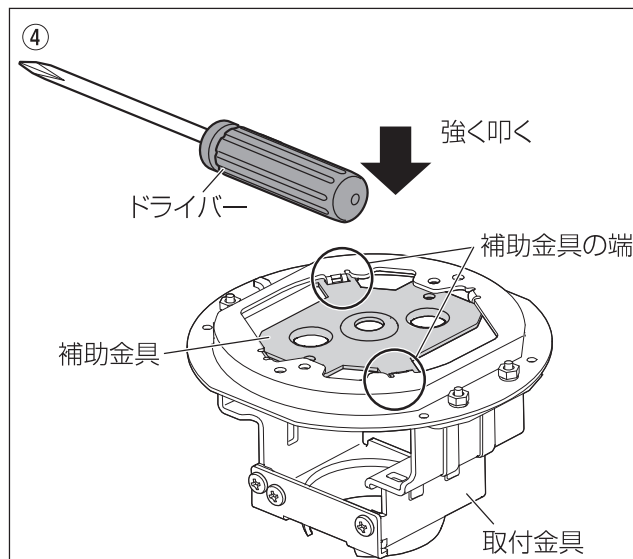
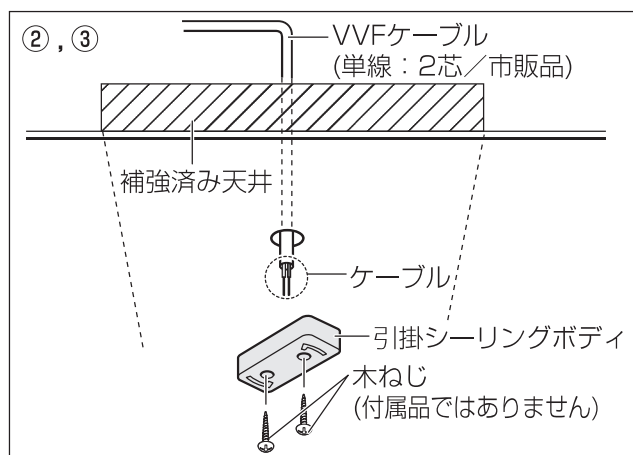
④ 補助金具をはずす

- 中央の補助金具の端（イラストの○印：2 カ所のうち片方）をドライバーで強く叩いてはずしてください。

⑤ 取付金具を付属の木ねじ（ ϕ 4 × 30L）4 本で取り付ける（ねじ穴は刻印 A、B 部です）



⑥ 天井に取り付けた引掛シーリングボディに、付属の引掛シーリングキャップ付きリード線を取り付ける



下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック ① 取付金具にガタつきはありませんか？

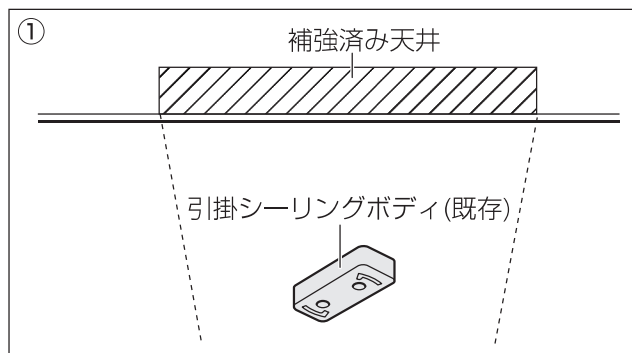
確認

☐

B：引掛シーリングが取り付けられている場合〈角型、丸型引掛シーリング〉

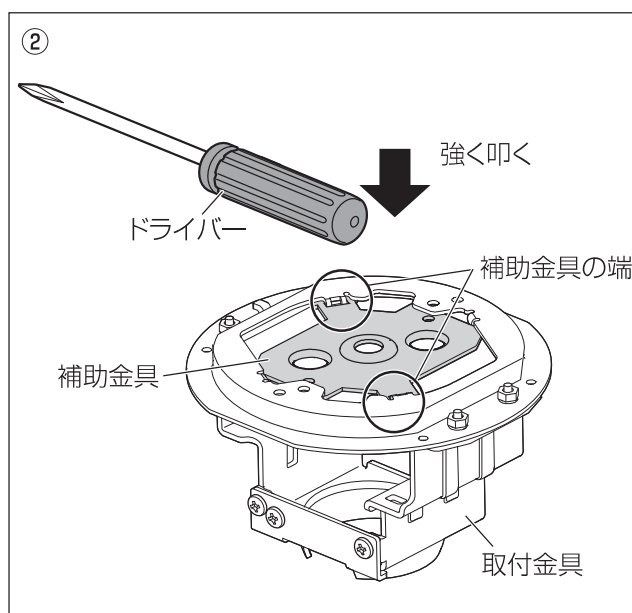
① 天井（取付面）の強度を確認する（8 ページ）

（イラストは角型引掛シーリングで説明しています）

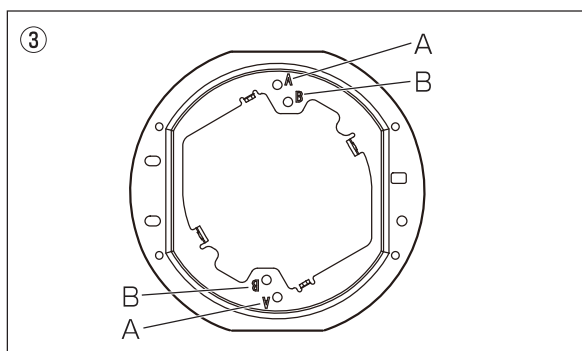


② 補助金具をはずす

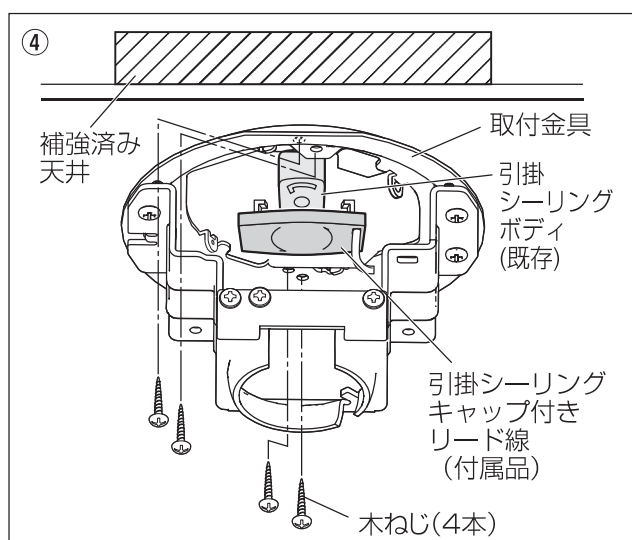
- 中央の補助金具の端（イラストの○印：2カ所のうち片方）をドライバーで強く叩いてはずしてください。



③ 取付金具を付属の木ねじ（φ4×30L）4本で取り付ける（ねじ穴は刻印A、B部です）



④ 天井に取り付いている引掛シーリングボディに、付属の引掛シーリングキャップ付きリード線を取り付ける



下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック ①取付金具にガタつきはありませんか？.....

確認

☐

本体を取り付ける

C：埋込形引掛シーリングが取り付けられている場合

①天井（取付面）の強度を確認する（8 ページ）

②埋込形引掛シーリングのねじ（2 本）をゆるめてはまず

③埋込形引掛シーリングの金具のねじをゆるめてはまず

アウトレットボックス、またはスイッチボックスが取り付けられているとき

④補助金具をはまず（10 ページ）

●ねじ間隔が 66.7mm の場合ははまずさないでください。

⑤埋込形引掛シーリングのケーブルを 2 本はまず

⑥はまずしたケーブル 2 本を取付金具（または補助金具）に通して付属の引掛シーリングボディに接続する

⑦取付金具（または補助金具）を付属の小ねじ（M 4×20L）2 本でアウトレットボックス、またはスイッチボックスに取り付ける

⑧引掛シーリングボディに付属の引掛シーリングキャップ付きリード線を接続する

野縁など補強材が取り付けられているとき

「アウトレットボックス、またはスイッチボックスが取り付けられているとき」の手順④～⑥と同じです。

⑦取付金具を付属の木ねじ（ $\phi 4 \times 30L$ ）4 本で取り付け（ねじ穴は刻印 A、B 部です）

⑧引掛シーリングボディに付属の引掛シーリングキャップ付きリード線を接続する



警告



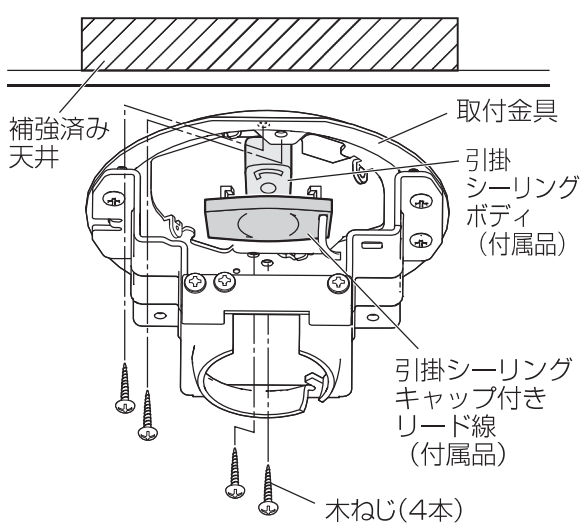
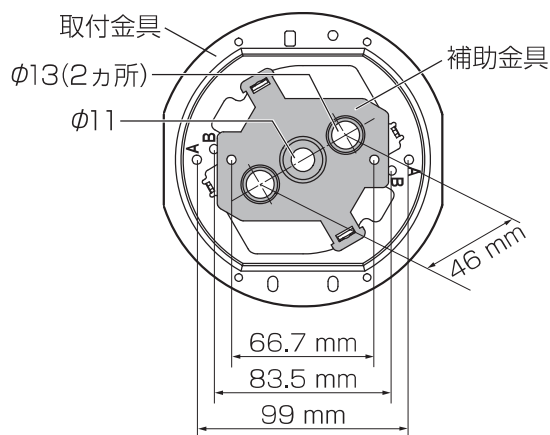
禁止

樹脂製アウトレットボックス
には取り付けない

樹脂製
アウトレット
ボックス



落下の原因になります。



下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

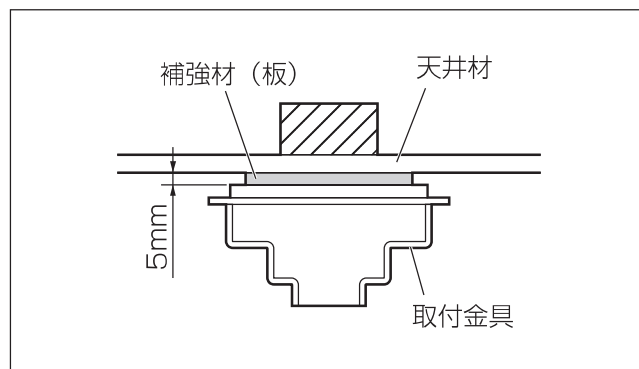
チェック ①取付金具にガタつきはありませんか？

確認

☐

D：ボルト取り付けの場合

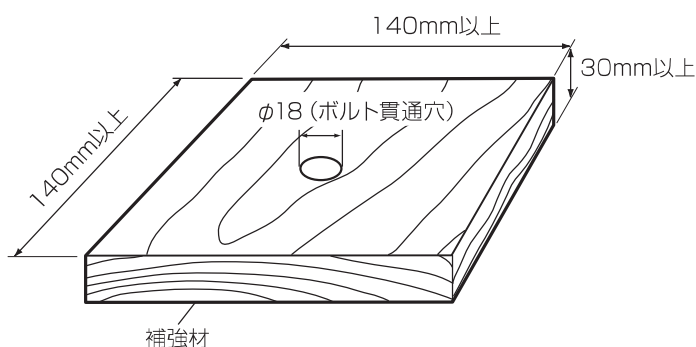
- コンクリートの天井には取り付けできません。
- やわらかい天井材（ジプトーンなど）に取り付ける場合は、天井材の下に補強材（板）を取り付けた後（右図）、ボルトの取り付けをしてください。
 - 補強材（板）は5mm以上で、取付金具の回り止め用木ねじ（ $\phi 4 \times 30L$ ）が天井材を貫通できる厚さにしてください。



1. 天井（取付面）の強度を確認する （8 ページ）

- 天井の強度が弱いときは取り付ける位置の天井材の裏側に、 $140 \times 140 \times 30\text{mm}$ 以上の木材が必要です。

※ この補強材は、取付金具の回り止め用木ねじの固定に使います。

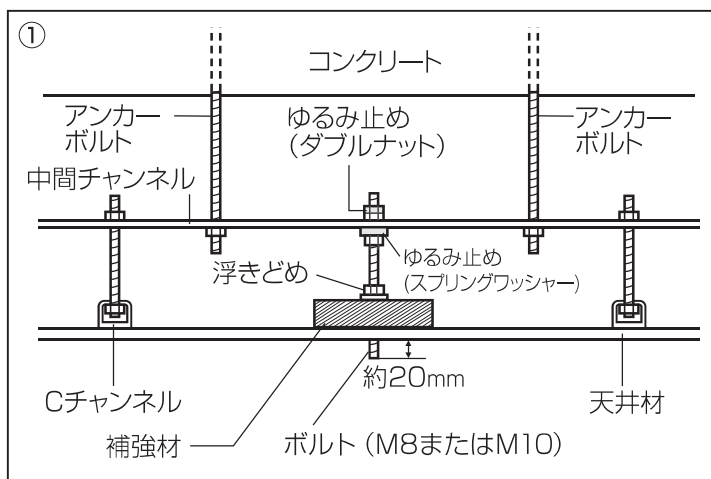


〔A：軽量鉄骨の天井に取り付ける場合〕

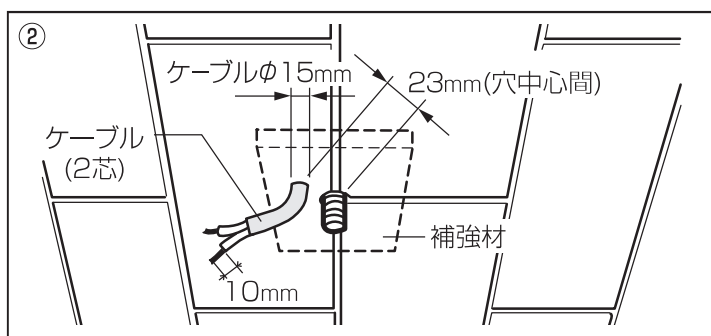
（付属の取付ボルトセットは使用できません）

- ①図のように ゆるみ止めを施したボルト（M8またはM10）を補強材と天井材に貫通し、浮きどめのナットで、補強材をおさえる
ボルトは天井面から約20mm出てくる長さにしてください。

ゆるみ止めを確実に締める



- ②図のように天井面にケーブル用穴（ $\phi 15\text{mm}$ ）をあけ、ケーブル（2芯）を約100mm出し、先端を皮むき（約10mm）する

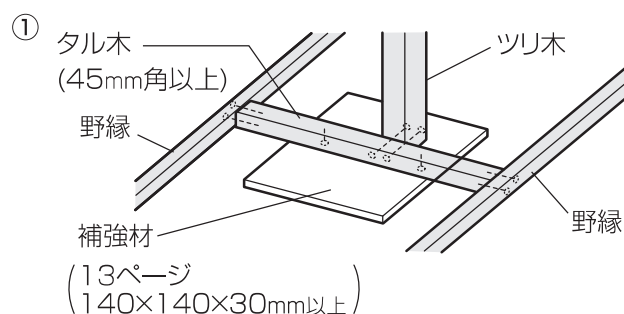


本体を取り付ける

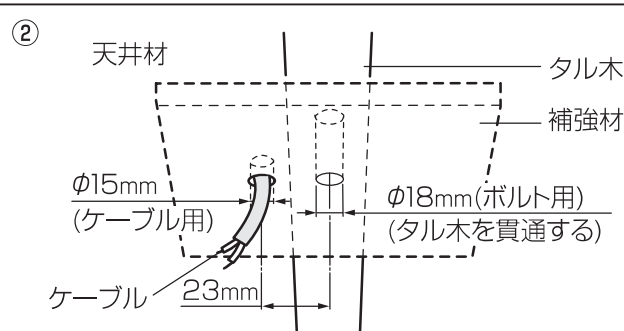
〔B：木造（梁）の天井に取り付ける場合〕

- ① 図のように天井の梁（モヤなど）から、ツリ木でタル木・補強材（13ページ）を固定する

シーリングファンをつるす位置にタル木の中心が通るようにしてください。



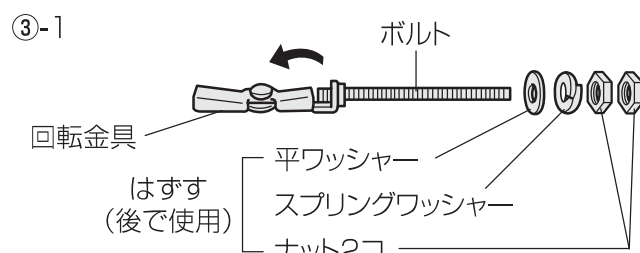
- ② 天井面にボルト用とケーブル用の穴をあけ、ケーブルを約100mm出し、先端を皮むき（約10mm）する



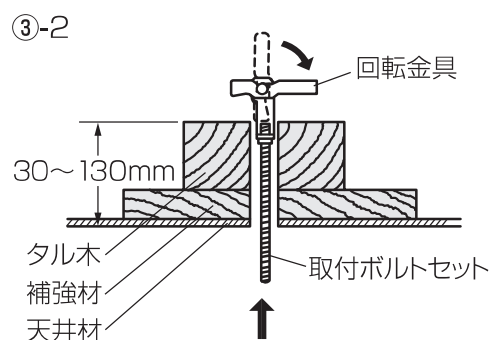
- ③ 取付ボルトセット（M8）を取り付ける

1. 付属の取付ボルトセットの回転金具をボルトの端に移動させ、ボルトとまっすぐになるようにしておきます。

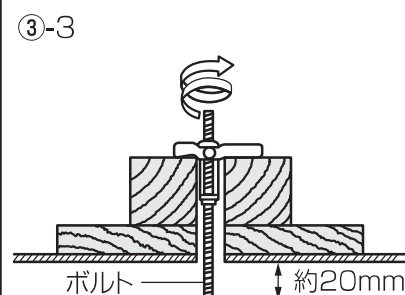
取付ボルトセットは③-2のように30mm以下、130mm以上の深さには取り付けできません。



2. 取付ボルトセットを図のように、ボルト用穴に貫通させ、ゆすって回転金具をたおします。



3. ボルトを下に引っ張りながらまわし、天井面から約20mm出る状態にします。



下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック ①天井はツリ木などを使ってしっかり補強していますか？

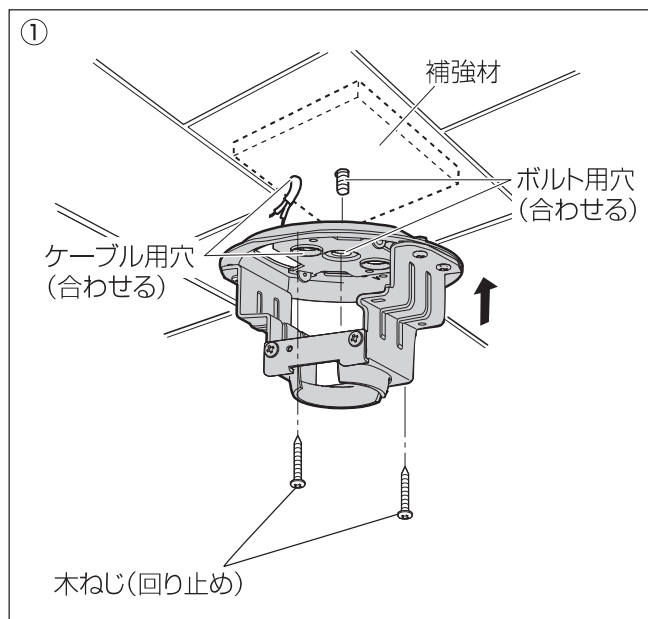
確認

☐

2. 取付金具を取り付ける（傾斜天井へ設置する場合でも取付金具に方向性はありません）

- ① 図のように、取付金具のボルト用穴（まん中）とケーブル用穴を合わせて、付属の木ねじ（ $\phi 4 \times 30L$ ）2本で固定する（ねじ穴は刻印A部です）

取付金具用ねじ（回り止め）を確実に締めつける



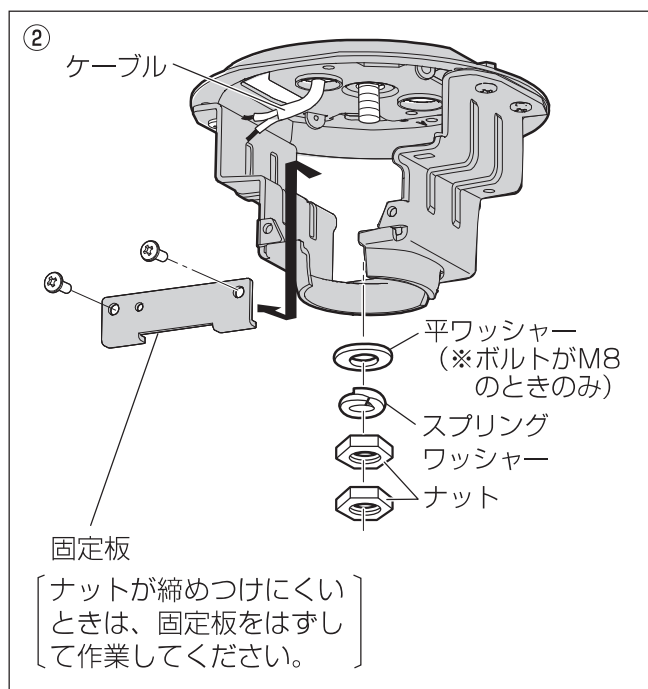
- ② 図のように取付ボルトセットからはずした

- 平ワッシャー
- スプリングワッシャー
- M8 ナット 2コ

をボルトに締めつける

※M10のボルトを使用する場合は、平ワッシャーは取り付けないでください。（ボルト取付面のくぼみにはまらないため）

ナットは締付トルク 300 ～ 400N・cm(約 31 ～ 41 kgf・cm) で、しっかり締めつける



- ③ ケーブル 2 本を補助金具に通して付属の引掛シーリングボディに接続する

- ④ 引掛シーリングボディに付属の引掛シーリングキャップ付きリード線を接続する

下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック		確認
① 取付金具のナットに、ゆるみどめを設けていますか？		☐
② ナットは十分締めつけられていますか？		☐
③ 回り止めの木ねじ 2 本は、補強材などの木材にしっかり締めつけられていますか？		☐

本体を取り付ける



警告



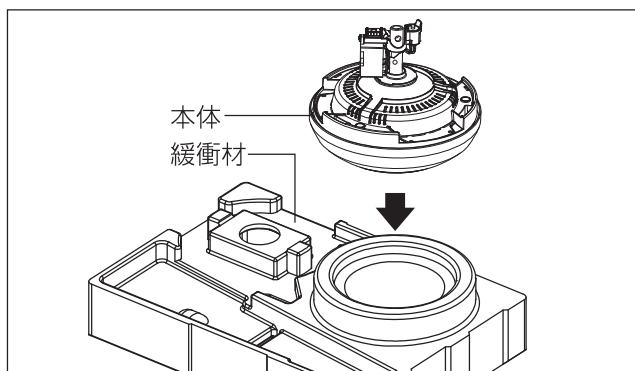
分解禁止

絶対に分解・改造しない

感電・発火したり、落下して、けがの原因になります。

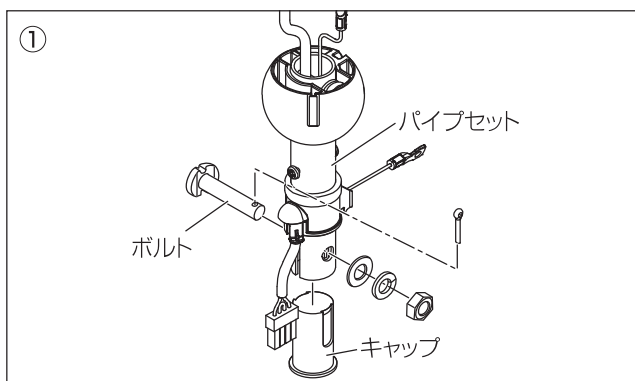
2 本体の下（受信部）に緩衝材を敷く

■ リモコン受信部保護のために梱包ケースの中にある、緩衝材を必ず本体下に敷いてください。



3 本体にパイプセットを取り付ける

① パイプセットに仮止めしているボルトとキャップを取りはずす



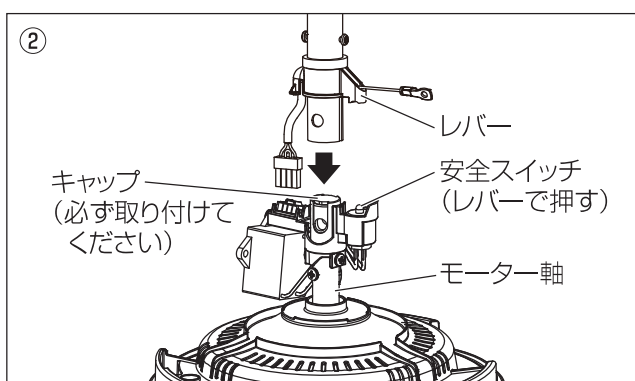
② モーター軸にキャップとパイプセットを差し込む

● キャップはモーター軸に必ず取り付けてください。

取り付け忘れると本体が揺れます

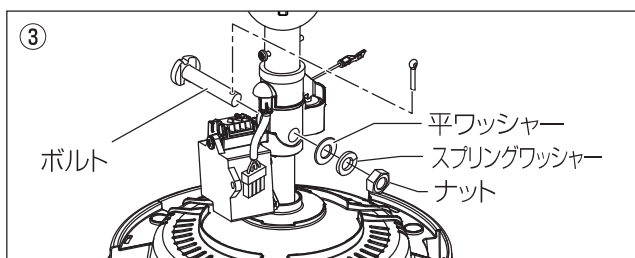
● パイプセットは向きを合わせて差し込み、安全スイッチがパイプセットのレバーで確実に押されていることを確認してください。

安全スイッチが押されていないと動作しません

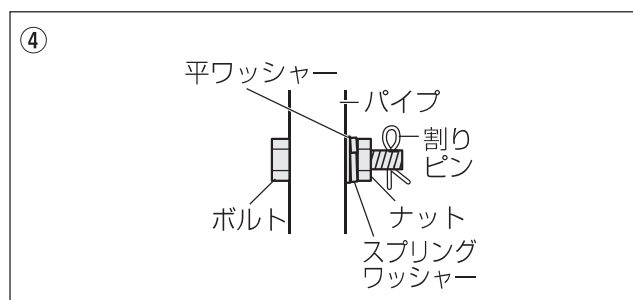


③ パイプセットをボルト、ナット、ワッシャーでしっかり固定する

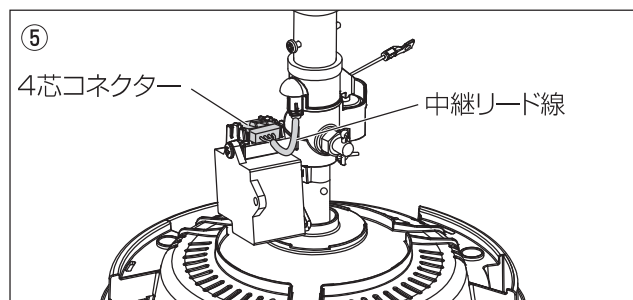
ナットはトルク 800N・cm (約 82 kgf・cm) 以上で締めつけてください



- ④ ボルトの先に割りピンを差し込み、
先を折り曲げる

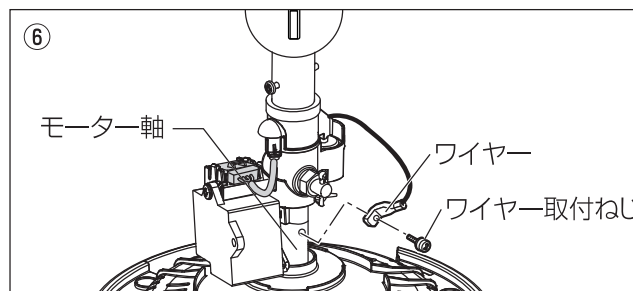


- ⑤ 中継リード線の 4 芯コネクタを本体側
リード線の 4 芯コネクタに接続する



- ⑥ モーター軸にワイヤーを取り付ける

- モーター軸に仮止めしているワイヤー取付ねじ (M4×8L) で、しっかり締めつけてください。
- ワイヤーは緩やかに張ってください。



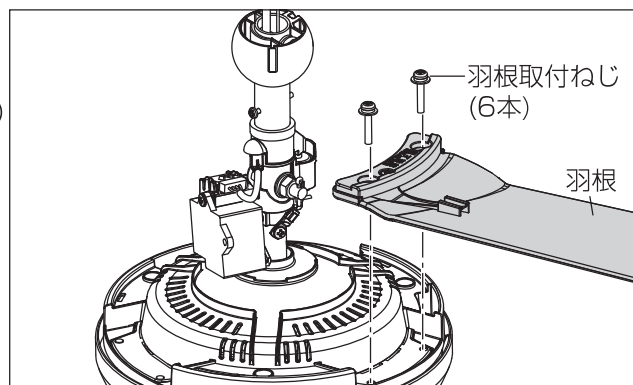
下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック		確認
①	キャップがモーター軸に取り付いていますか？	☐
②	パイプセットが付属のボルト、ナット、ワッシャーでしっかり締めつけられていますか？.....	☐
③	安全スイッチがパイプセットのレバーで確実に押されていますか？.....	☐
④	中継リード線の 4 芯コネクタが本体側の 4 芯コネクタに接続していますか？.....	☐
⑤	ワイヤーが取り付けられていますか？	☐

4 本体に羽根を取り付ける

- 付属の羽根取付ねじ (M5×25L:バネ座金付) 6 本を使います。

- それぞれ 2 本ずつ使います。



警告



禁止

羽根取付ねじは、電動工具
で締めつけない

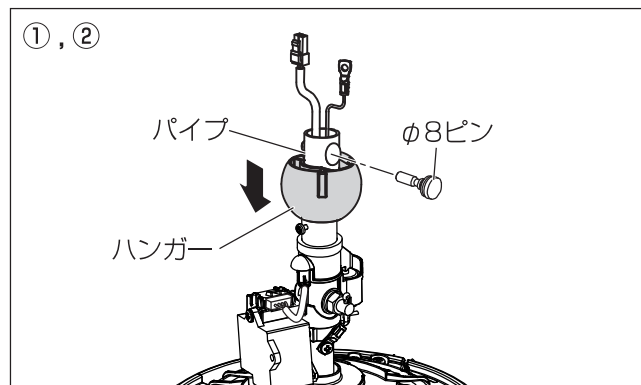
本体ねじ穴のねじ山がつぶれて
羽根が落下し、けがの原因になり
ます。

本体を取り付ける

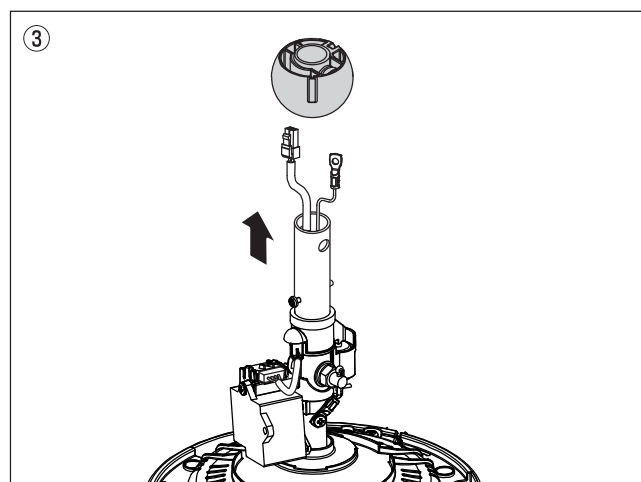
5 キャノピーを取り付ける

① パイプセットに仮止めしているハンガーを押し下げる

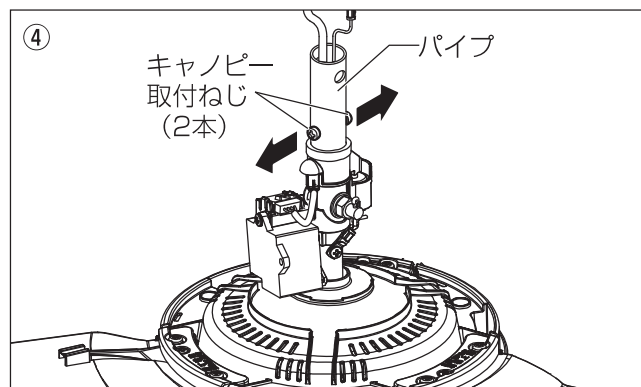
② $\phi 8$ ピンを引き抜く



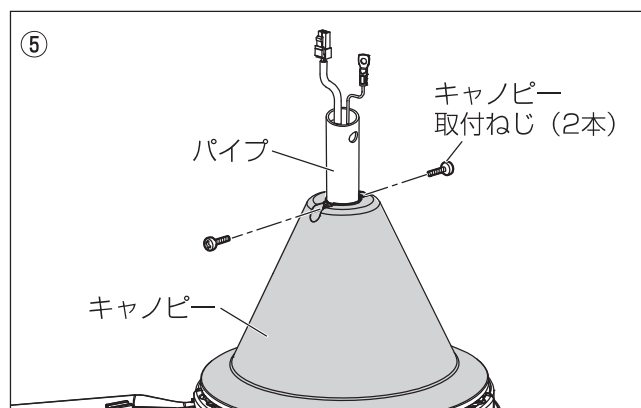
③ ハンガーを取りはずす



④ パイプに仮止めしているキャノピー取付ねじ (M4×8L) 2 本をはずす

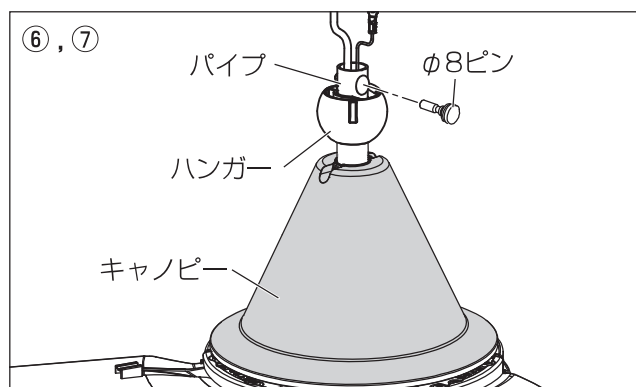


⑤ キャノピーをかぶせて、はずしたキャノピー取付ねじ (M4×8L) 2 本で固定する

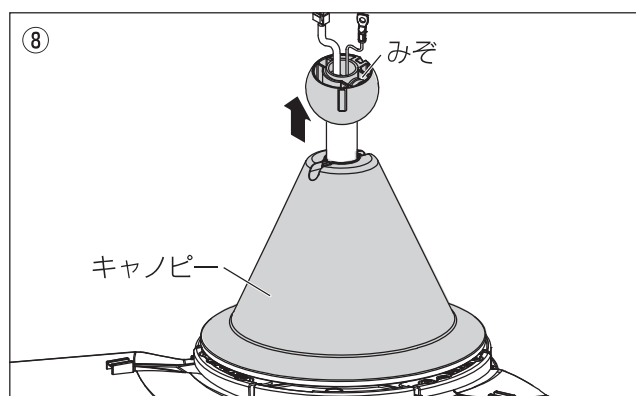


⑥ パイプにハンガーを差し込む

⑦ φ8 ピンをパイプに取り付ける



⑧ ハンガーを引き上げて、みぞに φ8 ピンをはめ込む



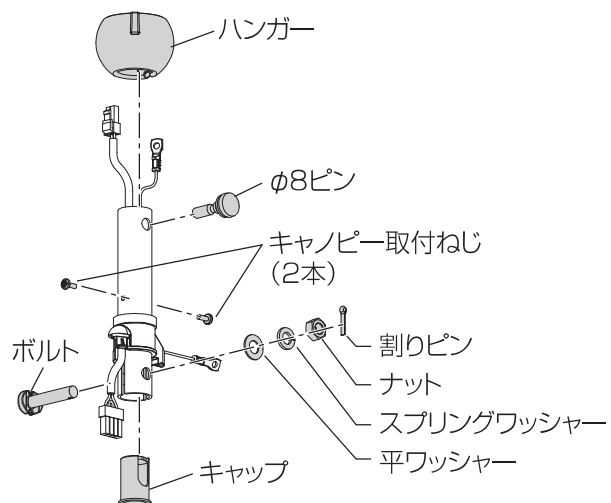
下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック	①羽根取付ねじがしっかり締めつけられていますか？.....	確認 ☐
	②キャノピーが取付ねじで固定されていますか？.....	☐

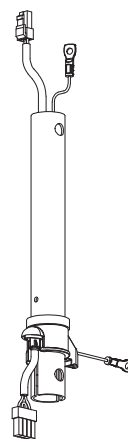
別売品のパイプを使用する場合 〈別売品のパイプでパイプの長さが変わられます〉

●同梱されているパイプセットから以下に示す部品を取りはずしてお使いください。

パイプセットから取りはずす部品



別売品のパイプ

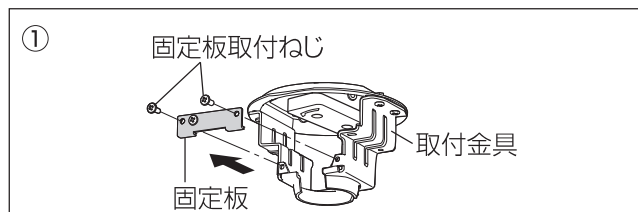


●上記部品を別売品のパイプに取り付けてご使用ください。
(本製品に同梱しているパイプセットの取り付け方と同じです)

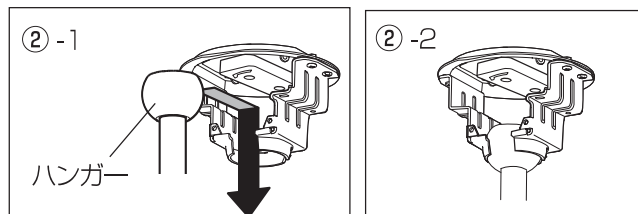
本体を取り付ける

6 本体をつるす

- ① 固定板取付ねじ（M4×8L）2本をはずして、取付金具から固定板をはずす

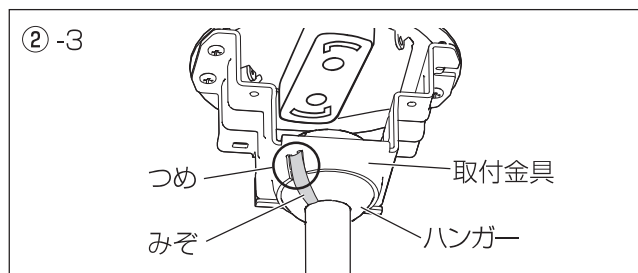


- ② 取付金具にハンガーを取り付ける



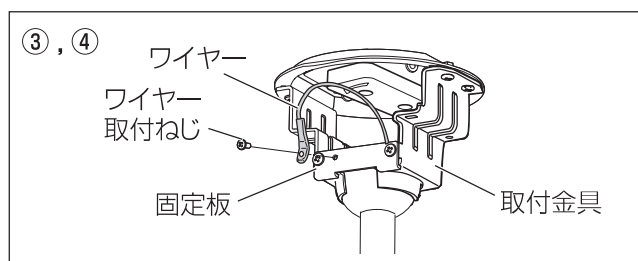
- ハンガーのみぞは、必ず取付金具のつめに合わせてください。

みぞがつめにあっていない場合は、揺れ、異常音の原因になります



- ③ 固定板を固定板取付ねじ（M4×8L）2本で取付金具に取り付ける

- ④ ワイヤーを固定板に仮止めされているワイヤー取付ねじ（M4×8L）で固定板に取り付ける



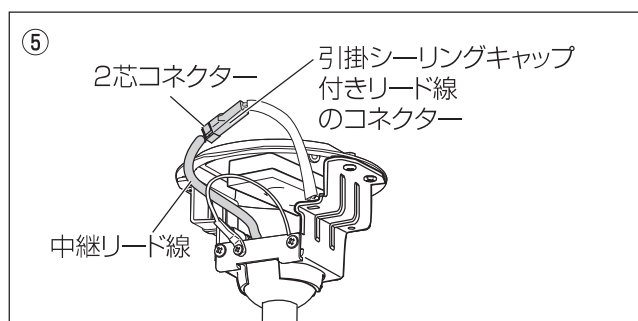
注意



ワイヤーは必ず取り付ける

落下による、けがの原因になります。

- ⑤ 中継リード線の2芯コネクターを引掛シーリングキャップ付きリード線のコネクターに接続する



下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック

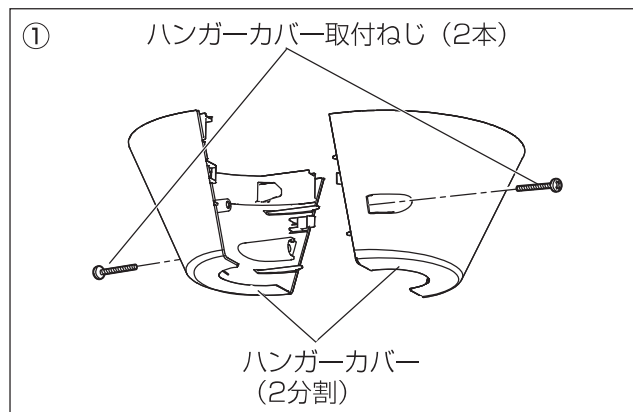
- ① 取付金具に固定板が取り付けられていますか？.....
- ② 固定板にワイヤーが取り付けられていますか？.....
- ③ ハンガーのみぞと取付金具のつめが必ずありますか？.....
- ④ 2芯コネクターを引掛シーリングキャップ付きリード線のコネクターに接続していますか？.....

確認

☐☐☐☐

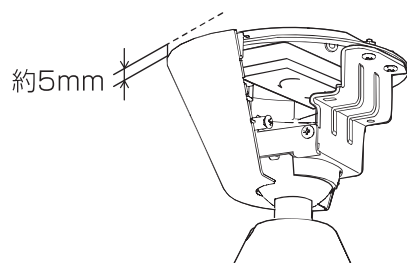
7 ハンガーカバーを取り付ける

- ① ハンガーカバー取付ねじ (φ4×12L)
2本をはずして、ハンガーカバーを
2分割にする

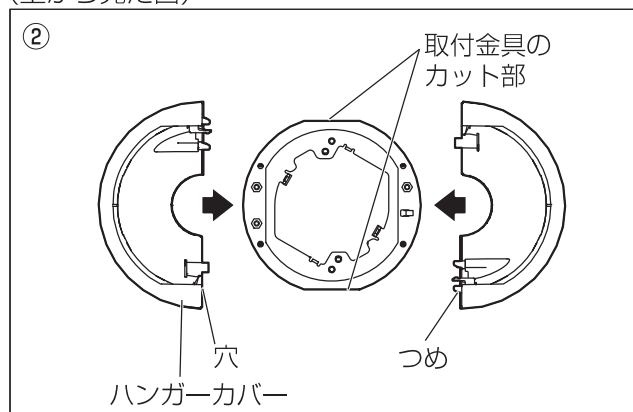


- ② 取付金具のカット部にそって、ハンガー
カバーを両側からはさみ込む

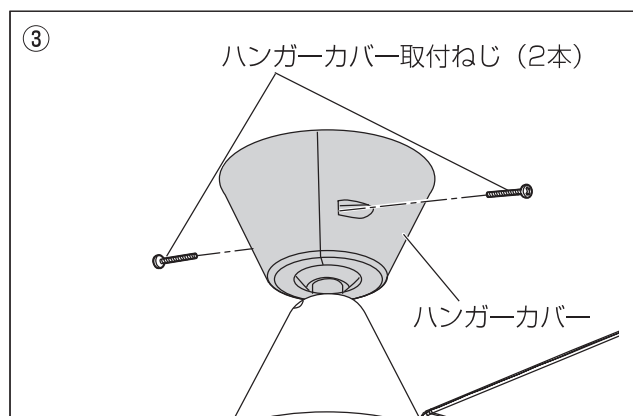
- つめと穴がはまり合います。
- 天井とのすき間は約 5mm あきます。
(天井との接触による振動を防止するため)



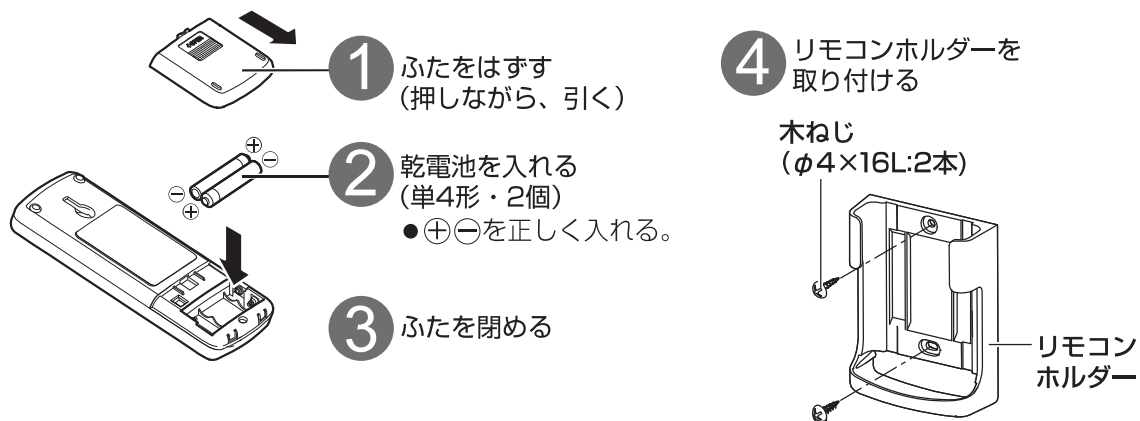
(上から見た図)



- ③ ハンガーカバーを、ハンガーカバー取付
ねじ (φ4×12L) 2本でしっかり固定
する



リモコンの準備をする



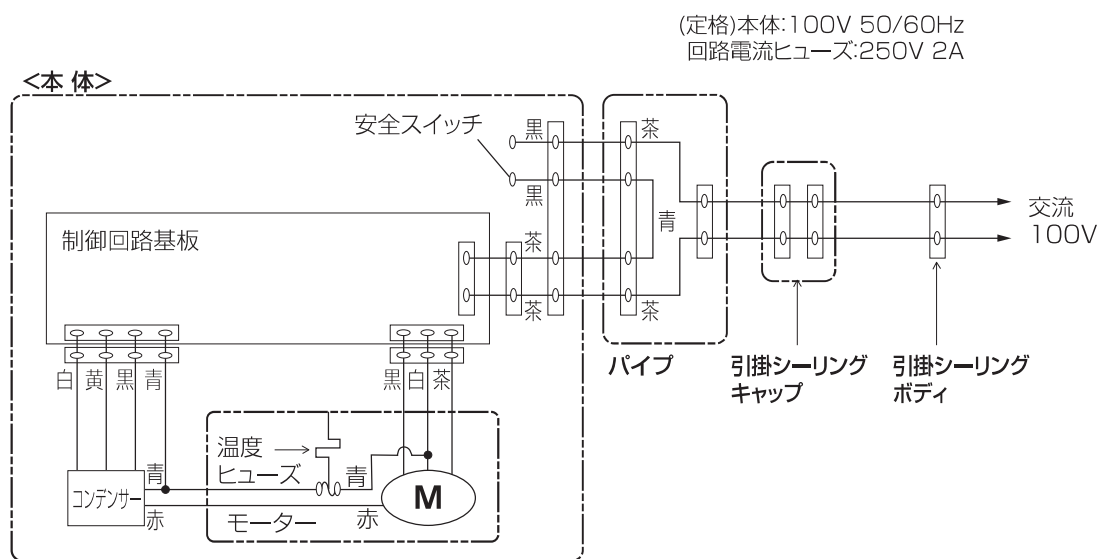
お願い

- お使いになるときは、リモコンは必ずリモコンホルダーからはずし、本体の受信部に向けて操作してください。(リモコンホルダーは保管用ですので、リモコンを差し込んだ状態で操作しても、本体は動作しないことがあります)

お知らせ

- このリモコンは、市販の学習リモコン(ラーニングリモコン)に記憶させてお使いになると、受信範囲が著しくせまくなる場合があります。

結線図



取り付け後の点検

<取り付け後は、必ず、下記の点検・確認をしてください>

①取付金具と天井面の取り付けにガタつきはありませんか？.....

確認

☐

■ ガタつきがあるとき

- 取付金具を取り付けるナットがしっかり締めつけられていますか？
- 取付金具の回り止めの木ねじが、しっかり締めつけられていますか？

②電源電圧は 100V ですか？.....

確認

☐

③始動して数分後にモーターやパイプに、
横揺れや振動はありませんか？

確認

☐

■ 横揺れ、振動があるとき

- 羽根取付ねじや吊り下げ部のねじがしっかり締めつけられていますか？
- 羽根が変形していませんか？
- ハンガーのみその位置が取付金具のつめと合っていますか？

※取り付けが確実であっても、羽根の回転により、横揺れ（2 ～ 3mm）が残る場合がありますが、故障ではありません。

④始動して数分後に異常な音が発生していませんか？.....

確認

☐

⑤リモコン操作と本体の動作は正常ですか？.....

確認

☐

■ 異常があるとき

- 取扱説明書の「運転のしかた」を参照し、各動作確認をする

仕様

●消費電力、回転数、風速、風量は「正回転」「1/fゆらぎ：切」「風量：強」のときの値です。

品番	電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	回転数 (r/min)	風速 (m/min)	風量 (m³/min)	本体質量 (kg)
AEE695092	100	50	44	206	162	160	4.6(※1)
		60	60	226	180	177	5.1(※2)
AEE695093	100	50	20	200	132	99	4.4(※1)
		60	28	216	144	109	4.9(※2)

●リモコンで運転「切」のときの消費電力は約0.3Wです。

(※1) 本体のみの質量です。(取付金具とリモコンを除く)

(※2) 本体と取付金具の質量です。(リモコンを除く)

●冬期など使用環境温度が低い場合は、始動時の羽根の回転が遅くなります。正規の回転数に安定するまでに、数分かかることがあります。

●使用環境温度は、5～40℃です。

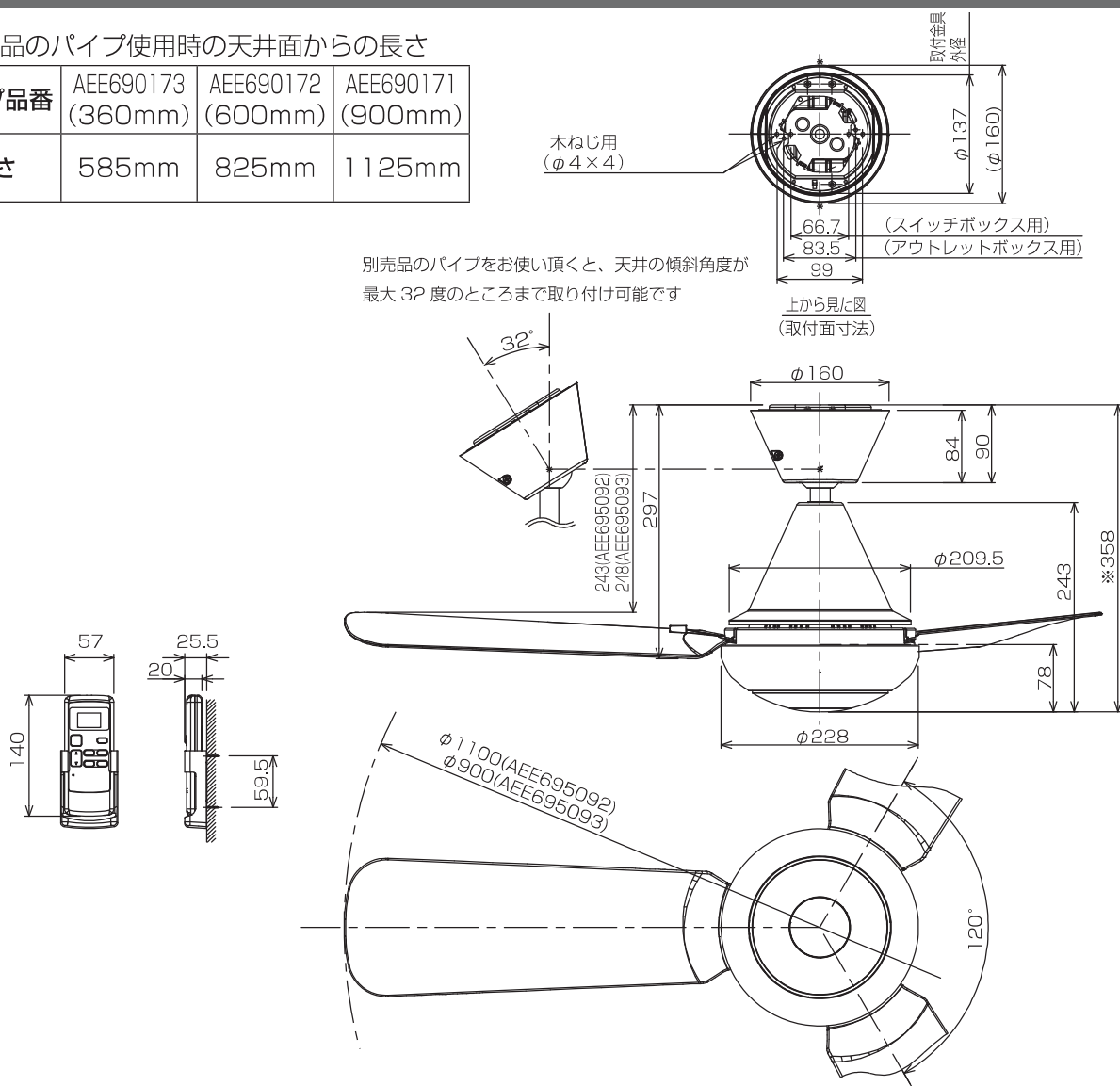
●この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

外形寸法

(単位：mm)

※別売品のパイプ使用時の天井面からの長さ

パイプ品番	AEE690173 (360mm)	AEE690172 (600mm)	AEE690171 (900mm)
長さ	585mm	825mm	1125mm



コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-3-7



MK23W8802CM

MK23W8802CM